

教えて!

富山 けいざい



M & A ってなあに？

◆企業合併・買収で事業効率化

ブン子さんは、北陸経済研究所（富山市）の楠智也主任研究員に質問しました。

Q－どんな意味だろう。

A－企業の合併や買収のことです。英語の合併（Merger）と買収（Acquisition）の頭文字を取って省略した呼び方です。企業グループ全体や子会社を売ったり買ったりすることはもちろん、事業部門の売買も含めて呼ぶことが多いんだよ。

Q－取り組む理由は。

A－規模を拡大して事業を効率化したり、新規の事業に進出したいといった理由があるようです。新たに事業を始めるときに一から立ち上げるのは大変ですが、人材や取引先、工場や技術などが一通りそろった会社を丸ごと取り込むことで、すぐに事業を拡大することができるのがメリットです。

売却する側としては、会社全体が行き詰って救済のために合併・買収されるというケースもありますが、本業や主力事業に集中するため、それ以外の事業を切り離したいとか、会社の事業を続ける後継者がいないといった理由が挙げられます。

Q－課題は何かしら。

A－買収には多額のお金がかかる上に、別々だった会社を一つにまとめ上げるのは大変な作業のようです。結果的に失敗だったとされる事例もあります。日本郵政は2015年5月に豪州の物流会社トール・ホールディングスを買収しましたが、経営がうまくいかず2017年3月期の決算で4千億円の損失が発生しています。

Q－県内の状況は。

A－日医工は16年8月に米国のセージェント社を買収し完全子会社化しました。米国の医薬品市場でのバイオ医薬品の後発品参入を促進するのが目的です。富山の企業を買収される側になる事例もあります。17年1月には富山市に本社のあるメガネハウスが、大手チェーンのメガネスーパーの子会社になりました。

M & Aは大企業だけの課題ではありません。帝国データバンクの調査によると、国内企業の66・5%で後継者がいないとのこと。中小企業の後継者不足対策としてM & Aを活用する動きもあります。

